平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	230		
会計	一般会計				
事務事業名	中心市街地活性化事業推進事務	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	商業・市街地活性課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画		第2期飯田市中心市街地活性化基本計画	
	法令・例規等		中心市街地の活性化に関する法律	

事業目的		
	対象	中心市街地
	意図	活性化のための事業が展開され、中心市街地の魅力が向上し、来訪者が増加する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	中心市街地の中心拠点としての魅力向上をめざし、リニア中央新幹線長野県駅との関係を踏まえた中心市街地のまちづくりを進めることで、賑わいの創出、来訪者の増加やまちなか居住の推進が図られることが求められています。これまで中心市街地が培ってきた都市基盤や潜在力を活かし、「小さな世界都市」を象徴する中心拠点として発展させていく必要があります。

30年度取組

取組内容

第2期飯田市中心市街地活性化基本計画に基づく事業実施及び進行管理を飯田市中心市街地活性化協会と連携しながら行います。
JR飯田駅周辺のあり方を含め、次期中心市街地活性化基本計画策定に向けて、中心市街地５地区のまちづくり協議会をはじめ、多様な主体の参加による検討を行います。
賑わいイベントの開催及び、日常の賑わいづくりに寄与するまちなか回遊促進事業を実施します。
中心市街地の素材を活用した商業空間の可能性について、明治大学アーバンデザイン研究室と共同研究に取り組みます。
電気小型バスの運行を効果的に進めます。

経費の内容	事業費(千円)
中心市街地活性化協会負担金	1,400
次期中活計画策定業務	2,000
まちなか回遊促進事業	383
明治大学との共同研究事業	150
電気小型バス運行業務	2,370
その他の経費	1,858

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
第2期中活計画に基づく事業の着手数	件	54	53		
次期中活計画策定のための検討会議数	回	8	10		
電気小型バス運行便数	便	1,000	1,000		
まちなか賑わいづくり事業実施回数	回	4	4		
明治大学との共同研究事業数	回		2		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	8,161	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	8,161	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	6	13	14	5,791 / 0	中心市街地活性化事業推進事務費
2	1	7	1	6	13	22	2,370 / 0	電気小型バス実証運行事業費
3								
4								
5								
6								
7								